

「プラスアルファの空間づくり」

武山肇、長谷川えいこ（LLP テイクス）

デッドスペースや生かされていないものを活用することで、複数の機能や効果をもつ<プラスアルファの空間>にできる方法をご紹介します講座です。

工夫やアイデア次第で、住まい方や暮らしはより豊かに楽しくなります。

設計段階で盛り込めること、改築時に改良できること、あるいは暮らしながら工夫できることなどその手法はさまざまです。

<その1>隠れている空間の活用

壁の中や小屋裏など、普段隠れてしまっている部分を活用することで、プラスアルファの空間が生まれます。



壁面内を活用した本棚



小屋裏をつくらず吹抜とロフトに

<その2>屋外環境や自然の活用

屋外の環境や光などを建物にうまく取り込むことで、プラスアルファの空間が生まれます。



庭に替わる小さな屋上



階段吹抜から南の光を取り入れたダイニング

<その3>時間の活用

多様性と可変性のある空間づくりや、役割を終えたものを生かすことで、プラスアルファの空間が生まれます。



2方向から使える介護トイレ



建て替え前のスタンドグラス活用の扉